



高圧ガス JCSSL 圧力校正 最大 100 MPa まで対応

株式会社 大手技研

本社：茨城県つくば市観音台 1-25-12 TEL: 029-839-0777
関西営業所：兵庫県明石市松の内 2-1-8 50ヤングビル6F TEL: 078-926-1178
<https://www.ohtegiken.co.jp>

Sureであること

当社は認定基準としてJIS Q 17025 (ISO/IEC 17025) を用い、認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSLの下で認定されています。
JCSSLを運営している認定機関 (IAJapan) は、アジア太平洋試験所認定協力機構 (APAC) 及び国際試験所認定協力機構 (ILAC) の相互承認に署名しています。
当社は国際MRA対応JCSSL認定事業者です。JCSSL 0188は当標準室の認定番号です。



Standard Blocks for Hardness

JIS, ISO 準拠
高精度
硬さ基準片
www.ystl.jp



JCSSLの校正サービス

4年ごと更新審査 校正証明書発行

JCSSLはジャパン・キヤリブレーション・サービス・システムの頭文字による略称で、計量法に基づいた計量トレーサビリティ(履歴管理)制度を表している。計量器について国家計量標準にトレーサブルな校正を行う事業者に対し、計量法関係法規および国際認定機関の国際規格ISO/IEC 17025の要求事項を満たしているのかを製品評価技術基盤機構 (NITE) の認定センター (IAJapan) が経済産業大臣に代わり審査して登録する。NITEが定めた区分の名称に「長さ」「質量」「時間・周波数及び回転速度」「温度」「圧力」「電気(直流・低周波)」「硬さ」などの分野がある。

また産業技術総合研究所(産総研)、情報通信研究機構 (NICT) がそれぞれこの国家計量標準の維持・管理を行っている。IAJapanの審査は必要がある。

①書類審査②登録申請書の設備や校正作業の現地調査(または遠隔審査)③技能試験への参加状況を経て登録される。登録後はさらに4年ごとの登録更新審査を経る必要がある。校正事業者の能力に信頼性を付与している。

登録された校正事業者は登録された区分(範囲)内の自社製品や依頼を受けた製品に対して校正を行い、校正結果によってJCSSL標準を付けた校正証明書(IAJapan)を発行できるようにしている。

有力企業の製品・技術

ネツシン

ネツシンは温度計測の原点である白金測温抵抗素子を独自の技術で研究開発し、世界最小級、最薄級の温度センサーを供給している。多様な場面で高精度の温度管理が要求される中、あらゆる温度を素早く正確に把握する技術で産業や社会の発展を支えている。

特に半導体関連産業では半導体の高密度化、微細化とともに、わずかな温度変化を捉えられる点を強みに顧客の信頼を獲得している。

今後はエネルギーと環境関連にも注力する。水素が液化する-253°C以下でも高精度に温度を計測できる技術を持つ。脱炭素やサブプライチーン(供給網強化)などで需要が見込まれる中、極低温領域での事業拡大を見据える。

アズビル

アズビルは1906年の創業以来、計測と制御の技術を追求してきた。その間に市場が要求する計測の精度は飛躍的に高まり、計測トレーサビリティの重要性もますます高まっている。こうした市場要求に応えるため、同社の技術標準部計測標準グループはいくつもの技術的困難を乗り越え、現在では圧力、温度、湿度、電気(直流・低周波)、時間・周波数および回転速度、流量・流速の6区分でJCSSL登録事業者となり、同社の品質を支えている。

企業理念である「人を中心としたオートメーション」の下、正しく測ることができるオートメーションで、人々の安全・安心を守り、持続可能な社会への貢献を目指す。

宝栄

宝栄は電子測定器や度量衡、圧力計などの校正、レンタル・リース、電気設備施工を手がけている。

多國間で相互認証する国際MRAに対応したJCSSLの認定事業者として、「電気(直流・低周波)」に関わる各種の校正事業を拡充している。

既存の登録認定である直流・交流の電圧・電流・抵抗のそれぞれ発生装置と測定装置が認定されている。

これにより各種ニーズにワンストップで対応していく。将来は温度や圧力、質量なども対象にできるよう、登録認定の追加を目指す。

大手技研

大手技研の校正サービスグループは、2025年3月6日、気体圧力の校正分野で国内初となる100MPaまでのJCSSL認定を取得した。同社テクノロジセンターで、気体高圧分野のJCSSL校正サービスの提供を始めた。

校正範囲は圧力、質量、温度、電気、気体流量の5分野で、国内外の計測機器の校正を手がける。圧力校正は国家標準と同等水準の特定二次標準器を有する第一階層の校正事業者として、業界トップレベルの校正品質を誇る。また、校正結果において必要な精度や不確かさを満たさない場合は、技術部門が調整や修理を施すことで、調整や修理を含む校正サービスをワンストップで対応できる強みを持つ。

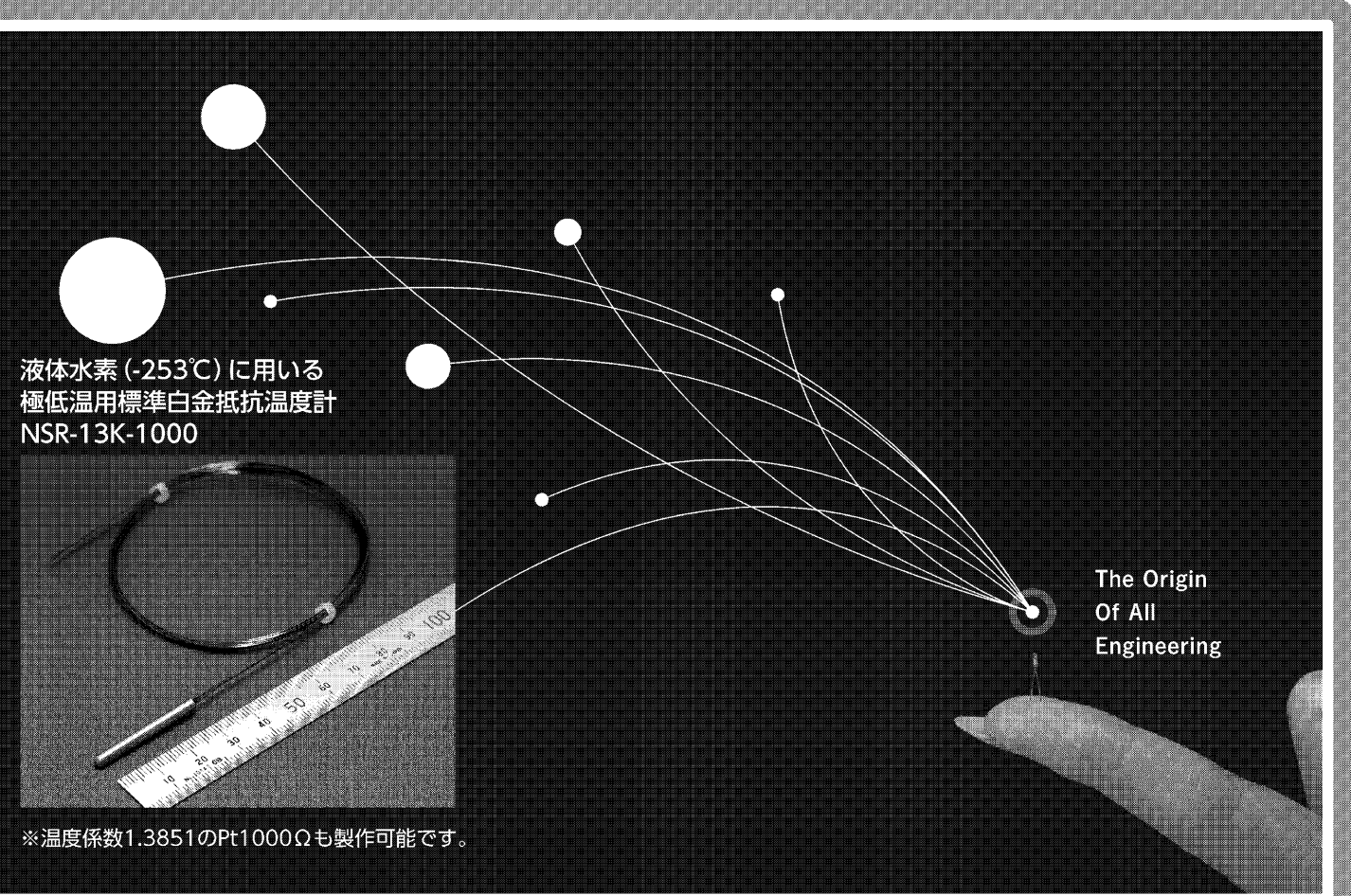
「ジャパंकオリティー」支える

計量器精度 国際的に証明

IAJapanは国際試験所認定協力機構 (ILAC)、アジア太平洋認定協力機構 (APAC) の相互認証取り決め(国際MRA)に参加している。これによりビジネスのグローバル化に伴う計量器の精度を国際的にも証明する要望に対応する。米国 (NVLAP)、英国 (UKAS)、ドイツ (DAkkS)、豪州 (NATA) などの認定機関が認定した校正事業者が発行する校正証明書と同じ効力を発揮する。

これはIAJapanの登録審査に、さらに2年以上の認定維持審査を経た校正事業者は「認定事業者」としてILAC、MRA付きJCSSL認定シンボルが記載された校正証明書を発行することができる。この校正証明書は国際取引において通用する証明書で、ジャパंकオリティーへの信頼性を高める。

モノづくり現場 - 信頼性を高品質に証明



液体水素 (-253°C) に用いる 極低温用標準白金抵抗温度計 NSR-13K-1000

The Origin Of All Engineering

※温度係数1.3851のPt1000Ωも製作可能です。

—温度センサの会社です。~ホームページをリニューアルしました!!—

ネツシンは、Ptセンサのトップメーカーとして温度センサの原点である白金測温抵抗素子を独自の技術で研究開発に特化し、自社ブランド力の強化に力を尽くし、「緑の下の力持ち」として信頼される企業を目指し社会貢献して参ります。

—ネツシンに関わる全ての皆様方へ心より感謝申し上げます—

NETSUSHIN
Ptセンサのトップメーカー

新しくなったホームページを一度ご覧ください。
<https://www.netsushin.co.jp/>

原点技術

azbil
人を中心としたオートメーション

あすみる、アズビル。

計測・制御技術を通して、ビル・工場・住宅の安心・快適の実現と地球環境に貢献します

EXPO 2025

アズビル株式会社